

三重の土地改良アラルト

県営中山間地域総合整備事業 「熊野南部地区」について

熊野農林事務所農村基盤室基盤整備課 主査 倉田修平

1. 地区概要

本地区は、熊野市の南部に位置しており、温暖な気候と豊富な水に恵まれ、柑橘類、米、梅などの生産が盛んな地域です。特に傾斜地では樹園地農業（極早生みかん等）が盛んで、勾配の緩和な区域では水田農業が営まれています。しかし近年耕作放棄地が増えており、持続的な農業の維持や、農地の保全のために、中山間地域の農業基盤整備の早期実施が課題となっています。

2. 事業概要

本事業は中山間地域総合整備事業で、農業生産基盤整備と農村生活環境基盤整備を実施しました。生産基盤整備では農業用排水路整備や農地の保全整備により、生産性の向上や維持管理の節減を図りました。また農道の整備により、農作物の荷痛みを防ぎ、品質向上、労働時間の節減を実現しました。

生活環境整備では、農業集落道や農業集落排水路の整備を行い、農村生活環境の改善に取り組みました。

3. 事業内容

当地区は複数の工種と路線から成り立っています。

事業内容は下記のとおりです。

総事業費 1,002,000 千円

事業工期 平成21年度～平成30年度

事業内容（農業生産基盤整備）

農業用排水路整備 L=2,149m(9路線)

農道整備 L=1,856m(5路線)

農地防災 2か所

農地保全 1,059m(1団地地区)

（農村生活環境整備）

農業集落道整備 L=610m(1路線)

農業集落排水路整備 L=120m(1路線)

4. 現場紹介

今回は、農道4号金山上地線について紹介いたします。樹園地内にある農道で、集落から樹園地を抜け、県道までアクセスする重要な農道ですが、幅員がせまく、カーブも多いため、農作物の運搬等に支障をきたしていました。このため、本事業において、実施区間390mのうち、230mの拡幅工事を行いました。

また、ショートカットのため160mの農道の 신설（幅員4.0m）、橋梁（橋長13.5m）工事を行いました。

(1) 道路法線の変更について

測量を実施したところ谷側が急勾配であり、擁壁等の施工

が困難であることが判明したため、道路法線を山側へ変更することとなり、掘削残土が増加しました。



山側切土掘削状況



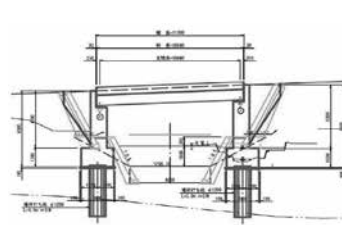
コンクリート舗装完了

(2) コンクリート舗装への変更

急傾斜地のため、コンクリート舗装で行う事となりました。

(3) 橋梁下部工の変更

橋梁下部工は、支持地盤が深い事から直接基礎から杭基礎（オールケーシング）に変更を行いました



橋梁構造図



下部工杭打設状況

(4) 工事期間中の雨による土石流

傾斜地であるため冬季の一時的な雨でも、上流から土砂や大きな転石が現場内に流入することがあり、護岸に堆積してしまいました。



降雨時の河道状況



降雨後土砂体積状況

(5) まとめ

工事現場が狭小で急傾斜のため、工事期間中は、対応に苦慮することもありましたが、引き続き当地域の主要な産業である中山間地域農業の基盤整備に取り組み、地域の人たちに役立つ施設を作っていきたいと考えております。



上部工架設状況



橋梁完成後